

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本講義は、将来に就職活動を控える学生が、知っておくべき企業社会に関する基礎知識を習得することを目的とする。具体的には、様々な業界が存在していること、その業界には多くの企業があり、また様々な仕事があること、そしてその仕事の社会的意義や働きがいなどを具体的に知るための講義を行う。

日頃の生活では知ることのできない企業の活動などの情報を得ることで、受講者の就職活動や将来の進路に向けた勉学の方向性をより具体的なものにすることを期待する。

本講義の多くの授業は、様々な業界の企業から実務に携わっている講師をお招きして講義していただく形式であり、講義内容は実務そのものを適時に伝え聞くことができる。

授業計画

第1回		ガイダンスと講義の目的
第2回	(仮)	就職活動を理解する～内定者パネルディスカッション～
第3回	(仮) 通信	関連業界の企業の講師による講義
第4回	(仮) 旅行	関連業界の企業の講師による講義
第5回	(仮) 輸送機器	関連業界の企業の講師による講義
第6回	(仮) 百貨店	関連業界の企業の講師による講義
第7回	(仮) 小売	関連業界の企業の講師による講義
第8回	(仮) 運輸	関連業界の企業の講師による講義
第9回	(仮) アパレル	関連業界の企業の講師による講義
第10回	(仮) サービス	関連業界の企業の講師による講義
第11回	(仮) 鉄道	関連業界の企業の講師による講義
第12回	(仮) 製造	関連業界の企業の講師による講義
第13回	(仮) 不動産	関連業界の企業の講師による講義
第14回	(仮) ホテル	関連業界の企業の講師による講義
第15回		総括および就職活動の動向と基礎知識
第16回		レポート提出

※ 授業の担当を予定している業界を示しているが、仮である。授業の順序や業界は日程調整などの関係で変わる。ただし、いずれにしても第3回から第14回ないし第15回（予定）までの内容は、企業など1社からお招きした講師が講義を担当する。

到達目標

1. 業界の特色や動向について理解を深めることができる。
2. 業界内の企業を知り、その企業の仕事内容や果たしている役割を知ることができる。
3. 実社会で活躍する講師の授業を聞くことにより、自らの進路について具体的に考える機会を得ることができる。

履修上の注意

企業からお招きする講師の実務に基づいた授業を中心として行い、質疑応答の時間を設ける形式の授業であり、一社会人としての受講姿勢を求める。特に、2年次生の受講を推奨する。

また、教室や授業環境の維持などのため、受講希望者が多い場合には、年次などを考慮した選抜を行う。

予習・復習

予習：事前に次の授業がどの業界の企業かを知ることができるので、下調べをする。

復習：講義を聴いた上で、新たな発見事項や興味関心がわいた事項を調べる。

評価方法

毎回提出する授業内レポート50%程度と期末レポート50%程度で評価する。

※ 既定の出席回数を満たしていない学生は、原則として、単位認定しない。

テキスト

特に使用しない。